

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	130610		
事務事業名	シルバーハウジング生活援助員等派遣事業		担当部局・課 健康福祉部 高年福祉課
事業内容	生活援助員による生活指導・相談助言、安否確認、一時的に必要な家事援助(調理、衣類の洗濯、掃除、整理整頓、その他必要な家事)、緊急時の対応、関係機関との連絡・調整、各種行事の開催、その他日常生活に必要な援助を行う。		事業開始(予定)年度 平成7年度
			事業終了(予定)年度 —
この事業の 上位施策	これから5 年間のまち づくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現
		項目	きめ細かな地域福祉の推進
		施策	高齢者の生活支援
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。		
事業の目的	生活援助員を派遣することによって、高齢者世話付住宅に居住する者が地域との交流を深め、自立して安全かつ快適な生活が営むことができるよう、その在宅生活を支援する。		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)
	事業費	14,499千円	財源内訳
			国・県補助金等 10,874千円
			市 債 —
			その他(使用料等) 116千円
			一般財源(市税等) 3,509千円
	投入人員	0.15人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)
	人件費	1,285千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。
	経費合計	15,784千円	
	事業費	14,575千円	財源内訳
			国・県補助金等 10,840千円
			市 債 —
			その他(使用料等) 121千円
			一般財源(市税等) 3,614千円
	投入人員	0.15人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)
	人件費	1,285千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。
	経費合計	15,860千円	
活動指標	指標名(単位)	相談件数(件)	
	意味・算式等	相談、生活指導等の件数	
		計画と実績	年度 区分 計画値 実績値
			H17年度 3,200
			H18年度 3,200

評価結果	B
	上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。